

あわらし定例記者会見

令和7年6月5日(木)9:00～

あわらし役所203会議室

1 市長市政報告

- (1) あわらし企業等魅力紹介ガイドブック「BRIDGE」公募型プロポーザルの実施について
- (2) 第38回あわらし北潟湖畔花菖蒲まつりの開催について
- (3) 「フルーツ王国あわらし 初夏のフルーツパーラー」の開催について
- (4) 次期市長選挙への出馬について

2 6月のイベント、主な行事予定等について

1日(日)	9:00～	小倉百人一首競技かるた 第57回全国女流選手権大会	(あわらし温泉 清風荘)
	10:00～	第45回伊井さつきまつり	(伊井公民館)
6日(金)	14:00～	国際ソロプチミスト 児童図書贈呈式	(203会議室)
7日(土)	10:30～	第38回あわらし北潟湖畔花菖蒲まつり (～15日(日))	(北潟湖畔花菖蒲園)
8日(日)		第12回市民スポレク祭ソフトボール競技の部	(トリムパークかなづ)
21日(土)	9:00～	あわらし子ども会「KYT研修会」 初夏のフルーツパーラー(～22日(日))	(芦原青年の家) (アフレア)
22日(日)	8:30～	風谷峠ファミリー登山(刈安山ハイキング)	(水車小屋～苅安山山頂)
24日(火)	10:00～	教育委員会定例会	(委員会室)
26日(木)	13:25～	あわらし小学校音楽会	(中央公民館)

令和7年6月 市長定例記者会見概要

- 1 日 時 令和7年6月5日(木) 午前9時～
- 2 場 所 あわら市役所 203会議室
- 3 進行要領
 - (1) あわら市企業等魅力紹介ガイドブック「BRIDGE」公募型プロポーザルの実施について
 - (2) 第38回あわら北潟湖畔花菖蒲まつりの開催について
 - (3) 「フルーツ王国あわら 初夏のフルーツパーラー」の開催について
 - (4) 次期市長選挙への出馬について

【 司 会 】

おはようございます。ただ今からあわら市長定例記者会見を始めさせていただきます。

なお、本日は定例記者会見後に続いて、隣の202会議室にて竜王戦に関する臨時の記者会見を行いますので、引き続きのご出席をよろしくお願いいたします。

それでは、市長よろしくお願いいたします。

【 市 長 】

おはようございます。

現在、あわら市では、まちづくり全体の基本方針を定める最上位の計画である「総合振興計画」が、令和7年度末で終期を迎えることから、令和8年度からの10年間を見据えた「第3次総合振興計画」の策定に取り組んでいます。

先月、5月24日(土)に、今後の10年間のあわら市のまちづくりの方向性や目指すべき将来像を市民の皆さんと共に共有し、計画に反映するため、「あわら市みらい創造ワークショップ」の最終回となる3回目が開催されました。

このワークショップでは、同一のメンバーで複数回の議論を行う事で、あわら市の将来についてより深い議論を行う方法をとっており、21歳から76歳までの様々な世代や立場の方、約25名の参加者が、「めざしたいあわら市」の姿や、それを実現するための具体的なアイデアなどについて活発に意見交換を行いました。

今後は、今回のワークショップで提案された意見や、市民アンケートの結果も踏まえながら、第3次あわら市総合振興計画の策定に向けて協議していきたいと考えております。

あわら市企業等魅力紹介ガイドブック「BRIDGE」公募型プロポーザルの実施について

はじめに、あわら市企業等魅力紹介ガイドブック「BRIDGE」公募型プロポーザルの実施について申し上げます。

あわら市には、世界に誇る技術をもつ製造業や、趣向をこらして観光客をおもてなしする旅館業、大地の恵みを生かして作物を育てる農業など、さまざまな産業がバランス良く集積し、やりがいをもって働ける場所がたくさんあります。

このような魅力的な企業や事業所を紹介するほか、あわら市で暮らすことの魅力を市内外に広くPRすることで、ふるさと愛の醸成を促し、本市への若者の定住、さらには移住の促進を図ることを目的に、「あわら市企業等魅力紹介ガイドブックBRIDGE（ブリッジ）」を制作しています。

ガイドブックを手にした人とあわら市をつなぐ架け橋になるようにと願いを込めて「BRIDGE」と名付けられたこのガイドブックは、初版から6年が経過し、このたび、紙面を大幅にリニューアルすることになりました。

現在、あわら市の魅力ある産業や企業等を取材、撮影、製本し、それらの魅力を市内外に広く発信していただける事業者を募集しています。

選定につきましては、公募型プロポーザルで行います。

参加表明は、6月16日（月曜日）まで、企画提案書の提出は、6月26日（木曜日）までとなっております。

その他のスケジュールや参加資格要件など、くわしくは、市ホームページにて実施要領や仕様書をご確認いただけますようお願いいたします。

あわら市の魅力が伝わる素敵なお提案をお待ちしています。

第38回あわら北潟湖畔花菖蒲まつりの開催について

次に、第38回あわら北潟湖畔花菖蒲まつりの開催について申し上げます。

6月7日（土）から15日（日）の9日間、北潟湖畔花菖蒲園にて開催を予定しております「あわら北潟湖畔花菖蒲まつり」について申し上げます。

この花菖蒲まつりは、昭和61年から始まり、今年で38回目の開催となります。

会場の北潟湖畔花菖蒲園では、6月上旬から中旬ごろまで、色とりどりの花菖蒲が、鮮やかに咲き誇ります。

まつりでは、地元の北潟こども園の園児によるステージ発表を皮切りに、劔岳わかば太鼓による賑やかな演奏や、子供を中心に大流行中のeスポーツの体験のほか「岡野兄弟」さんによる三味線のパフォーマンスの披露など、これまでにない規模でステージイベントの内容を充実したいと考えております。

さらに、メロンやスイカを販売する地元名産市や、北潟湖で獲れた天然うなぎの販売のほか、北潟の自然を堪能できるカヌー体験教室も予定しています。

皆様、是非ともこの機会にお越しいただき、満開の花菖蒲と

風光明媚な北潟湖畔に癒され、自慢の地元のおいしい食で元気いっぱいになっていただきたいと思います。

イベントの詳細は、別紙チラシをご覧くださいませようお願いします。

「フルーツ王国あわら 初夏のフルーツパーラー」の開催について

次に、アフレアにおいて開催される、6月のイベントにつきまして申し上げます。

6月21日（土）と22日（日）の2日間、「フルーツ王国あわら 初夏のフルーツパーラー」を開催します。

このイベントは、今回で3回目の開催となります。

過去2回のイベントでも好評だった、この時期旬のメロン、スイカの玉売りやカット販売をはじめ、季節のフルーツを使ったジュースやスイーツの販売、小さなお子さんを対象とした「メロンぬりえ」のワークショップなど、フルーツをテーマにした楽しいイベントとなっています。

今年も是非、福井県最大の園芸産地「あわら・坂井」の魅力をアフレアでご堪能いただきたいと思います。

詳細は、別紙チラシをご覧くださいませようお願いします。

次期市長選挙への出馬について

最後に、次期市長選挙への出馬について申し上げます。

去る5月26日の市議会一般質問で表明させていただきましたが、来年1月のあわら市長選に再選を目指し、出馬させていただくことを決意いたしました。

答弁の中でも述べさせていただきましたが、本日はあらためて、私の市長2期目に向けた決意について、申し上げます。

令和4年2月、私があわら市長に就任してから、早くも3年半が経過しようとしております。

この間、令和6年3月の北陸新幹線開業というチャンスを最大限に活かし、持続可能な地域活性化につなげるため、これまで全力で取り組んでまいりました。

一方で、本市においても人口減少や少子高齢化が緩やかに進行し、地域の活力低下による様々な影響が顕在化しています。

また、令和6年能登半島地震においては、本市でも震度5強を観測し、多くの家屋やインフラに甚大な被害が生じました。

この3年半、このような社会情勢の変化や、大きな自然災害に対応し、ふれあいトークをはじめ様々な場面で市民の皆様の声を聴き、市議会の皆様と議論を重ねながら「市民が主役のまちづくり」、「誰一人取り残さない市政」を目指し、市政に取り組んでまいりました。

次の市長選挙には、多くの市民の皆様、議員各位のご支援をいただけるようであれば、この4年間の取り組みを基礎にしてさらなる深化を図るべく、市政の責任者として、引き続き重責を担わせていただきたいと決意を固めたところでございます。

山積する課題に真摯に向き合い、これまで以上に全身全霊を傾けて市政運営に取り組んでまいりたいと考えております。

もし、次期市政運営をお任せいただけるのであれば、その中で、あわら市を将来どのようなまちにしていきたいのか。について申し上げます。

1期目の選挙の時も訴えた私の目指すあわら市の姿は「つながるあわら」です。人がつながり、地域がつながり、外につながり、そして未来へつながる「挑戦し続けるまち」であります。

これを実現するための課題は数えきれませんが、ここで三つ述べさせ

ていただきます。

一つ目は「子ども・若者が住みたくなるまちづくり」です。

子ども・若者が「希望をもって住み続けられるまち」づくりを進めるために、本年度から取り組む「次世代につなぐタウンミーティング」を通して子ども・若者の意見を聴き、市政に反映させる取り組みを充実させたいと考えております。

また、本年度から本格化する全天候型の子どもの遊び場整備も含め、子育て世代が楽しく安心して暮らせるまちづくり、そして子育て世代への支援をさらに充実させたいと考えます。

一方で、移住者やUターン者、そして元々あわら市に暮らしている若い世代にあわら市に住み続けてもらうための支援も拡充していきたいと考えております。

二つ目は「にぎわいと活気にあふれるまちづくり」です。

北陸新幹線の福井延伸は大きな効果をあわら市にもたらしましたが、常に申し上げている通り、これはゴールではなくスタートであります。この人とモノの流れをしっかりと維持し、拡大していくことが必要です。

昨年、「来たい、住みたい、おすすめしたい、世界に愛されるまち“AWARA”」を目指し、「あわら市観光まちづくりビジョン」を策定しました。

本市のトップブランドである「あわら温泉」を軸に、北潟湖や吉崎御坊、創作の森や数々の遺跡群など市内全域に新幹線開業効果を官民連携で拡大してまいります。

また、「竹田川周遊エリア整備事業」を進めるなど、市の顔である新幹線駅周辺の一体的な賑わいづくりをさらに進めてまいります。

さらに、観光にとどまらず、新幹線の開業効果を最大限生かして、人口

減少対策における重要な課題である「働く場とまちの賑わい」のさらなる創出を進めていきたいと考えており、商業施設の増加と企業誘致について、戦略的に推進してまいりたいと考えております。

三つ目は、「災害に強いまちづくり」です。

能登半島地震は市民に災害はいつ自分を襲うかわからないという不安と恐怖を与えました。これを教訓とし、今年度から総務部に危機管理課を創設し、市民の命と暮らしを守るため、災害に強いまちづくりを全庁一丸となって加速させてまいります。

また、国道8号線4車線化や県道南中央線など主要道路の早期整備を国、県にしっかり要望するとともに、道路、河川、上下水道などについて着実に補修、改修を進め、災害に強い、持続可能なまちづくりに努めます。

このほか、地域コミュニティ支援、教育環境の充実、高齢者・障がい者への寄り添い、農林水産業支援、DXの推進、ゼロカーボンシティの推進など、様々な市政の課題は数え上げたらきりがありません。

一つ一つの課題に市民の皆様、議員各位の声をしっかり聴きながら真摯に向き合い、職員と力を合わせ様々な知恵と努力で、この美しいふるさと「あわら」を未来へつなぎ、そして次の世代へと「託す」ことこそが、私の使命であると考えております。

引き続き、報道関係の皆様方にも、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

私からは以上でございます。

【 司 会 】

それでは、市長の発表が終わりましたので、記者の皆さん方からのご質問をお受けしたいと思います。

【 記 者 】

(質問)

【 司 会 】

他に質問ございませんか。

これで定例記者会見を終わらせていただきます。

なお、次回の市長定例記者会見は、6月30日(月)午前10時から予定いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

冒頭でも申し上げましたが、引き続き竜王戦に関する臨時記者会見を開催いたします。お手数ではございますが、お隣の202会議室へご移動をお願いいたします。